

中核拠点となる施設の再構築と整備

現行3体育館を廃止し、多数の観客席設置やバリアフリー対応等、全ての市民が利用しやすく各種スポーツ機能を集約した中核拠点となる「総合スポーツセンター(仮称)」を1館整備する。その他施設は、「あり方」や「アセットアセスメントの視点」に留意し、市民のニーズに配慮するとともに、民間スポーツ施設の活用を図りながら再整備する。

第1段階 (～平成29年度)

* 市民体育館+勤労者体育センター+玄海B&G海洋センター(3館体制)

市民体育館

メインアリーナ (34×43m…1,462㎡、観客席200席)、体育館A・B (17×32m…544㎡、卓球・剣道)、体育館C (13×14m…182㎡、柔道・)

(総合スポーツセンター開館後に閉館)

勤労者体育センター

アリーナ (23×28m…644㎡)

(総合スポーツセンター開館後に閉館)

玄海B&G海洋センター

アリーナ (22×32m…704㎡)

(総合スポーツセンター開館後も当分の間、開館)

アセットマネジメントの観点から現行3体育館を

第2段階 (平成30～36年度)

* 総合スポーツセンター+玄海B&G海洋センター(2館体制)
※玄海B&G海洋センターは学校開放施設の拡大が進んだ段階で廃止とする。

総合スポーツセンター (仮称)

【現行3体育館の機能】

- ・メインアリーナ
*バスケットボールコート3面
- ・サブアリーナ
*バスケットボールコート1面
- ・卓球室
- ・体育室 (卓球、剣道、空手、柔道等)

【新たに追加する機能】

- 施設面
 - ・メインアリーナ 観客席
 - ・武道場、弓道場
 - ・選手控室、共用スペース
 - 備品類等収納倉庫、冷暖房設備、駐車場
- スポーツの総合的支援機能

スポーツ観光にも対応

ふれあいの森総合公園及び その他有料スポーツ公園

多目的グラウンド、テニスコート、野球場等は、数、規模及び機能ともに現状を維持する。
ふれあいの森総合公園の駐車場は、高齢の利用者にとって移動の負担が大きいことから、駐車場の再整備を検討するなど利用者の利便性を



野球場の整備

軟式野球場を宗像中央公園及び明天寺公園の2球場とし、必要に応じて観客席、ベンチ、審判本部席等を設け、市民が「する」「みる」「支える」スポーツ施設を整備する。
併せて、近隣市町の野球場と相互利



宗像ユリックスのスポーツ施設

保全改修計画に基づき、アクアドーム及びテニスコートの改修を行い、数、規模及び機能ともに現状を維持する。



サッカー等の球技場及び陸上競技場

民間スポーツ施設であるグローバルアリーナ施設を市営スポーツ施設の代替施設として位置づけ、市営施設料金との調整を図り活用する。
市営スポーツ施設の代替施設として位置づけた民間スポーツ施設については、改修等に際してその費用の一部を補助する「民間スポーツ施設整備費補



※屋外スポーツ施設の整備については、今後の利用状況に応じて、宗像市スポーツ推進計画の見直しの際に再検討します。